



広報部会

2023年度活動報告

広報部会の活動内容・メンバーについて

- 目的

広報誌（Kirenkyou NEWS）を発行し、
企業連携協議会の取り組みや部会活動をPRする

➡ もっとよく知ってもらい、入ってよかったと思ってもらい
会員企業の増加、企業同士のつながりを作る

- メンバー

永瀬 由里子（株式会社 川北電工）

今井 飛鳥（スマイルキャンパス さつませんだい）

川畑 志織（薩摩川内市企業連携協議会）

逆瀬川 栄子（株式会社 アトスフーズ）

田中 美佐（株式会社 大進）

担当理事 谷平 英之（株式会社 ENSHARE）



広報誌の発行

- 広報誌（Kirenkyou NEWS）を年3回（5月、9月、1月）発行

- 掲載内容

企連協の事業・セミナーの報告

企業紹介

（広報部会がおじゃましま〜ス）

5月…部会活動内容紹介

1月…会員企業さんの年男年女紹介

- デザインなど

手に取ってもらいやすいよう、

季節に合わせたデザインに。

文字の大きさも統一し、

読みやすいように。



広報誌の発行 ~企業紹介（取材訪問）~



広報部会が
おじゃましまへす

今日の取材は
株式会社KÖGEN
鹿児島県薩摩川内市種崎町西之553-1

会社説明

株式会社KÖGENは山元社長が前職でのノウハウを生かして2018年12月に創業。国内でも扱える人の少ない高度な設備を用いて、高精度な金型・治工具・装置部品の金属加工を行っている会社です。経験豊富な従業員3名で、特殊案件・試作開発案件といった他社では困難な複雑形状加工もされています。会社名の「KÖGEN」は光源に由来し、お客様の困りごとを解決するための光でありたい、従業員が輝ける職場でありたいという思いが込められています。

主な加工内容
●航空・宇宙産業の試作品 ●エネルギー事業設備部品 ●半導体関連部品、金型 ●加工系の試作機部品 など

社名切手話

「KÖGEN」の「O」は、ドイツ語のウムラウトという表記を使用しています。導入している設備がドイツ製なのと、おっしゃたかと思いましたが、取引先のドイツ人からは「読み方が変わるよ」と言われてしまったそうです。

KÖGENの強み

強みは、最先端の加工設備が揃っており、同じ機械でも作り手によって完成度が変わりますが、KÖGENの従業員の方はCAD^{3D}・CAM^{2D}の高等制御技術があることで、どんな形状も対応できるそうです。基本的に「すべて機械で加工する(手仕上げしない)」ここにこだわられていて、お客様から「モノが違う」とお褒めの言葉をいただき、選んでもらえることが励みになっているとのことです。



※1コンピュータ上で設計や制御を行う
※2CADで作成した図面を基に、機械で加工に必要なプログラムなどを生成する工程

製品について

角材や丸材の金属を削り出した後、プログラムを組んで加工します。設備プラントの部品加工依頼が多く、医療設備プラント・エネルギープラント・半導体の装置などの心臓部となるパーツを製造されています。その他にも東京のベンチャー企業「ispace」様が開発した月面探査衛星(Mission1)の着陸脚の関節部品やその他の部品も造られたそうです。



※2022年12月にスペースX社のロケットに搭載し打ち上げられました。
▲月面探査衛星の部品

今後の展開

若い方も雇用し、今持っているノウハウや経験を伝え、さらに若い方の考えや経験をプラスして受け継いでほしい、「モノづくりの面白さ」を伝承していきたいとの強い思いを持っていらっしゃいます。また昨年、量産に対応できる機械を導入したので、量産体制を整えていき、将来的にはスマート工場(工場内の機械等の設備をインターネットに接続させた工場)を造りたいとも話されていました。



▲エネルギープラント部品 ▲一層仕上げの部品は最高精度

株式会社KÖGEN様

取材しつめての感想



永瀬 由里子
株式会社川支電工
金属を削り出したとは思えないほど、複雑で高精度な金属加工をされていると驚きました！これはとても驚きでした！これはとても驚きです！会社がお持ちの会社が地元であることに誇りに思います。

東園 仁俊
株式会社川支電工
高い技術力と、宇宙へと製品が売られていることに驚きと感動を受けました。山本社長の温かい印象からは想像がつかない程、会社に対してとても熱く語られる姿に、私もワクワクしました！



広報部会が
おじゃましまへす

今日の取材は
株式会社リプラス工房
鹿児島県薩摩川内市南平町3300番地
https://repluslabo.jp/gogo.jp/

事業内容について

これまで、10年ほど同じ事業に携わっていましたが、『まだご利用者様に対してできることがあるのではないか』『自分の想いを形にしたい』と考え、令和11年1月1日にご夫婦で創立されました。介護保険を利用した福祉用具のレンタル、特定福祉用具販売、ご自宅の住環境整備を薩摩川内市といちき串木野市をメインに行っています。一昨年より福祉用具展示場を設け、実際に福祉用具を見て・さわって体験していただけるように社内に改装されたそうです。



ぜひ、お見せに参れさせていただきます！

どのような製品があるのか

家で生活するための介護用ベッド、マットレス、車椅子、歩行器、手摺、クッションポータブルトイレや入浴時のシャワーチェア、浴槽グリップ等を取り扱っております。また、ご利用者様のご自宅にも訪問し、安全点検を行いながら生活状況も確認させていただきます。なるべく本人の力を奪わない程度に必要な介護用具を提案されているそうです。特に介護シューズについては、本人に合ったものを提案したいとの思いから、『あゆみシューズ』アドバイザーの認定を取得。お試用のデモ機もあるため、足の計測・足入れをして選ぶことができます。シューズのデザインや種類も豊富にありますので、ぜひご相談くださいと話されていました。



株式会社リプラス工房様

取材しつめての感想

田中 美佐
株式会社大進
事務所に入ると、福祉用具や介護シューズが山ほどあり、種類の豊富さに驚きました！接客も丁寧で、相談できる場所があること、この支えに安心できる感じがしました。

川畑 志織
事業協同組合薩摩川内市企業連合協議会
利用者やその家族のことで考えてくれているのが伝わりました。困った時は相談にのっていただき提案してくれるので、介護が初めてでも安心してお願いができるなと思いました。店舗にはたくさん商品があり実際に触れるので一度行ってみてください！

【第8回】株式会社リプラス工房様

株式会社リプラス工房様



広報部会が
おじゃましまへす

今日の取材は
有限会社藤井ピアノサービス
鹿児島県薩摩川内市西向田15-1-1

創立と事業内容

薩摩川内市出身の藤井社長は元々ピアノと全く縁がなかったとのこと。自動車修理工場に勤務していたことから、ピアノ販売店を始めた高校時代の音楽の先生より、「ピアノを修理してくれないか」と声がかかったそうです。「楽器の街」浜松市のピアノ修理工場で働き始め、修理から調律や営業まで十二分に経験されました。「お客様中心で物事を考え、お客様のためになる」活動をしたという思いより帰郷し、

1985年12月8日に藤井ピアノサービスをスタートされました。ほぼ全てのメーカーのピアノの販売・調律・修理・廃棄までされています。ピアノは販売して終わりではなく、その後調律や修理をすればずっと受け継がれていくもの。オープン前日にピアノを購入されたお客様がいっぱいあったため、「お店をつぶさない、継続させる」ことが当初からの目標になったそうです。

グランフィールについて

藤井ピアノサービス様の代表的な技術の一つが「グランフィール」です。家庭で一般的なアップライト(縦型)ピアノに取り付けることで、グランド(平型)ピアノ並みのタッチや音色を得られる装置です。また、社内はカフェのようなオシャレな作りになっていて、ハウジングやクリスマスなどに合わせて飾り付けもされています！

ロシアやアメリカ、中国でも特許を取得されています。また購入後のお客様のことを考え、技術を一人占めすることなく、全国にいるお弟子さんに取り付け技術を教えているそうです。そして、もともと後付けの装置でしたが、『グランフィール』が幅広いモデルのオリジナルのピアノも作られています。

2009年に完成した「グランフィール」は多くの人に認められ、日本の特許を取得し、「ものづくり日本大賞内閣府大臣賞」や「日本発明振興協会会長賞」も受賞。さらにヨー



有限会社藤井ピアノサービス様

取材しつめての感想

野原みどり氏
2024年8月31日(土) 15:00開演
未定
※詳細は藤井ピアノサービス様へお問い合わせください！

永瀬 由里子
株式会社川支電工
取材の最後に、藤井社長が「グランフィール」ピアノを弾いてくださり、「その音色や響きの違いや素晴らしいに圧倒されました！8月にコンサートがあるそうなので、ぜひたくさんの方に聞いていただきたいです！」

川畑 志織
事業協同組合薩摩川内市企業連合協議会
今回取材をさせていただき、調律師になった経験やグランフィールピアノの生みの話を聞き、スケールの大きさに驚きました。最後に見せてもらった際にも素敵で、行きたいなと思いました！

【第9回】有限会社藤井ピアノサービス様

有限会社藤井ピアノサービス様

【第7回】株式会社KÖGEN様

株式会社KÖGEN様

広報誌の発行

～企業紹介（取材訪問）～

- 広報誌発行後に、取材した企業様への問い合わせあり！
取材した企業様に、企連協の別イベントに参加いただけた！
- 今後も企業取材を掲載（目標：年3社）
当日は当日は、2～3名で会員企業様を訪問取材し、
取材内容をまとめ、記事を作成
会員企業の皆さま、ご協力よろしくお願ひいたします。
また、取材してほしい企業様がいらっしゃいましたら、
事務局までご連絡ください！！！！



今年度の活動について

①広報誌（Kirenkyou NEWS）の定期的（年3回）な発行
掲載してほしい記事（企業様、部会活動内容）がありましたら、
事務局までご連絡ください！

②配布方法などを検討

【案】企業連携協議会のメルマガ、SNSを活用
会員企業への配布枚数や、配布場所の検討

③その他、広報誌作成以外の広報活動

